



平成17年12月

第4号



京丹後峰山の

こんぴらさん

盛況紅葉祭



境内は大賑わい



色あざやかな山内のもみじ



当日挙式の新郎新婦様

十一月二十七日(日)に初めて開催された紅葉祭は、晴天に恵まれ多数の参拝者をお迎えできました。地域の奉仕者が志だけを持ち寄り、手作りで行った祭事。神社の歴史に新たに刻まれる意義深い一日でした。

平成十八年
年頭行事のご案内

こんぴらさんの 初詣

大晦日より終夜参拝
元日 御神酒 授与
正月縁起物多数

※元日午前零時より、
峰翔会(こんぴらさん応援団)のご奉仕で「**あたか**いもの」の無料接待を計画しています。

一月十四日午前七時
焼納祭(どんど焼)
二月五日(日)十一時
節分 還暦初老祈願祭
節分祈願祭を第一日曜に
執行します。
ご参列希望の方は、
地域にかかわらず
多数お申し込み下さいませ。

新年祈願承り中

家内安全 心身健勝
商売繁盛 会社隆昌
男女厄年 開運厄除
合格祈願 学業成就
海上安全 大漁満足

平成18年の厄年(数え年)

- 昭和63年生 19歳 女子 厄年
- 昭和57年生 25歳 女子
- 昭和49年生 33歳 女子 大厄
- 昭和45年生 37歳 男女
- 昭和40年生 42歳 大厄 初老
- 昭和21年生 61歳 還暦

平成23年 御鎮座二百年祭



京丹後市峰山町泉1165-2
電話 0772-62-0225
FAX 0772-62-5993
メール info@konpirasan.com

<http://www.konpirasan.com>

紅葉祭 大盛況

二百年祭への 確かな位置づけ

十一月二十七日(日)予報を覆す晴天に恵まれて第一回紅葉祭が盛大に開催され、山内数百本もの紅葉も見事に色づくなか、境内は終日大変な賑わいを見せました。

こんぴらさんの応援団として昨年末結成された『峰翔会』は「しょうかい」を中心に夏頃より準備に着手、平成二十三年の御鎮座二百年祭の先駆けとして位置づけ、二百年祭は神社の式年祭といつとだけでなく、神社を中心に町内を盛り上げて行く類のない契機でもあり、地域の皆さんが神社に親しんでいただき、さらに京丹後市全体へと波及し、広く内外へ発信できる新たな祭行事の開催を、と検討を重ね、「神社山内を彩る紅葉の時期に因んだ祭事を開催しよう」と企画し、実行委員会を立ち上げたの開催となりました。



殊に実行委員会は、この趣意に賛同した有志参加者で組織され、地元七区区长でもある荻野正二氏を実行委員長に、旧峰山町内全域に加え管からも助勢いただき、とうかつて例のない態勢で、総勢四十数名規模の組織となり、当日奉仕参加していただいた方は実に一〇〇名にものぼりました。

当日は午前九

時三十分より紅葉祭儀を、本殿に齋行、神社役員、金刀比羅会役員、紅葉祭実行委員が参列し、行事開始の奉告を行ったのを皮切りに各種催事が始まり、拝殿前では祭儀で祈願を修めた災禍除け家内安全の神札が参拝者に授与されました。今回の目玉として行われた、ぎゅまの接待は、御本殿まで参拝された方へ、丹後では祭りに欠かせない「バラ寿司」と海の神「こんぴらさん」に因む「カニ汁」を接待しようと思図したもので、午前十一時からのバラ寿司には、準



備数の三百を優に超える行列が、でき瞬間に無くなる人気振りとなりました。

午前中絵馬舎では地元で雅楽の活動をされている「峰雅会」による奉納演奏があり、峰山よここい連は午前には拝殿前に、午後には石

段下でよここい踊りを奉納披露して一層の華を添え、終日境内では餅つきを実演したせんざいな、各種模擬店や地場産品市が開催され、各所に長蛇の列が出来、盛況振りとなりました。また、当日婚儀を挙げられた新郎新婦も飛び入り参加し、人力車で境内を練った後、参道を参進して石段下から拝礼する様をお披露目、紋付羽織袴の新郎と白無垢姿の新婦に境内を埋める参拝者から口々に「おめでとー」と祝福を受けるなど、神社ならではの光景に大変な盛り上がりとなりました。

境内点描 手水舎

こんぴらさん境内でもいつも親しまれている「手水舎(テミズシヤ)」は、神前にお参りする前に、手と口を清める所です。大きな鉄の瓶から、地元では「金鉢(カナバチ)」として親しまれています。



水は、神域の山内から滔々と湧き出したものを汲み上げています。「泉」の地名の通りこんぴらさんの御山は良質の水が豊富に湧いており、周辺では昔から多くの井戸が掘られて利用されてきました。当社の御神酒『麗峰』の蔵元も神社山内のお水を用いられています。

神様からいただく清らかな「ご神水」として、毎日のように多くの方が汲みに来られ、ご神威に預かっています。

本年度金刀比羅会改革に着手し、懸案でございました組織の拡充と会員の増強につきまして、幅広いご支持とご理解を賜り、多大な成果を残していただきました。現在会員は種別に、特別奉賛三五軒、奉賛八五軒、篤志一〇〇軒、一般七七〇軒と総数は目標の一千軒にほぼ達し、会費も目標を大きく上回るお申込みを頂いております。あらためて厚く御礼申し上げる次第でございます。

会員安泰祈願祭齋行をもちまして年次の大祭は無地執りお納め申し上げました。本年中は災害に見舞われることもなく穏やかな年となり、特に当社には大きな礎を築くことの出来た一年でございました。

金刀比羅会の改革と新祭事・紅葉祭の開催は、ともに迎える御鎮座二百年祭への足固めであるばかりでなく、神社はみなさんの共有財産であるという証を形に出来たのではないかと存じます。紅葉祭実行委員会と開催にかかわっていただいた百名の志は、神社にとつても町にとつてもかけがえのない財産です。紅葉するもみじの如き赤き真心が年々歳々変わることもなく伝えられ、更に広がりを見れば幸いです。

本年中に賜りましたご芳情に厚く御礼申し上げますとともに、どうか新年も変わらぬご崇敬の念をお寄せ下さいますようお願い申し上げます。

先の安泰祈願祭において奉祀修め申し上げました「神札」と「神酒」をお頒ちさせていただきます。新年の装いを整えられたご家庭・社屋神棚に神宮大麻共々お祀り下さいますようお願い申し上げます。

宮司 拝